

昭和高等学校 令和7年度 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：C組・F組：井川 A・B・E・G組：落 D・H組：近藤

使用教科書： 高等学校新地理総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 （1）地図や地理情報システムと現代世界 【知識及び技能】現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （1）方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付き現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図 （2）地図や地理情報システム日常生活の中で見られる様々な地図の読図 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表	①現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	B 国際理解と国際協力（1）生活文化の多様性と国際理解 【知識及び技能】世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （1）自然環境と生活文化 東南アジアの人々の生活と文化 （2）産業と生活文化 東アジア、北アメリカの人々の生活と文化 （3）言語、宗教と生活文化 西アジア・北アフリカの人々の生活と文化 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考查			○	○		1

A horizontal timeline with vertical tick marks and a small circular icon near the right end.

2 学 期	B 国際理解と国際協力（２）地球的課題と国際協力 【知識及び技能】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であること などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】さまざまな地球的課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （１）地球環境問題 （２）資源・エネルギー問題 （３）人口・食料問題 （４）居住・都市問題 ・教材 教科書、地図帳 ・一人１台端末の活用、グループワーク・発表	①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であること などについて理解している。 ②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③さまざまな地球的課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	C 持続可能な地域づくりと私たち（１）自然環境と防災 【知識及び技能】我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （１）地震・津波と防災 （２）火山災害と防災 （３）気象災害と防災 （４）自然災害に備えたくらし ・教材 教科書、地図帳 ・一人１台端末の活用、グループワーク・発表	①我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C 持続可能な地域づくりと私たち（２）生活圏の調査と地域の展望 【知識及び技能】生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】生活圏の地理的な課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （１）地域調査の方法 （２）昭和高校周辺の地域調査 ・教材 教科書、地図帳 ・一人１台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解している。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③生活圏の地理的な課題について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和 7 年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：A組・B組・F組：伊藤 輝仁 C組・D組・E組・H組：中田 民夫 G組：近藤 晃弘

使用教科書：（ 詳解 歴史総合（東京書籍） ）

教科 地理歴史 の目標：
【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重すること

科目 歴史総合 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	現代の課題を歴史的視点から考察させることを通して、時期や推移などに着目して因果関係などで関連付けて捉え、現代的な課題の形成に関わる近現代の歴史について考察したり、歴史に見られる課題や現代的な課題について、複数の立場や意見を踏まえて構想したりする力を身に付けさせる。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在との繋がりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 近代化と私たち 【知識及び技能】 ・18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う	・指導項目 (2) 結びつく世界と日本の開国 ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人 1 台端末の活用、グループワーク・発表	【知識及び技能】 18 世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18 世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	第1章近代化とわたしたち 【知識及び技能】 ・18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定して、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代現代の歴史の変化にかかわる諸現象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (3) 国民国家と明治維新 ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人 1 台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 ・18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い (2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 ・教材 教科書、資料集、ワークシート ・一人 1 台端末の活用、グループワーク・発表、レポート・論文提出	【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11

2 学 期	定期考查			○	○		1
	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (3) 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 ・教材教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、プレゼンテーション、レポート・論文提出	【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		15
	定期考查			○	○		1
3 学 期	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解すること。 ・列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ・帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の人々の生活文化について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い(2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 ・教材教科書、資料集、ワークシート ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート・論文提出	【知識及び技能】 18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な 技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化にかかわる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○		13
	定期考查			○	○		1
							70

昭和高等学校 令和7年度 教科 地理歴史 科目 地理探究

教科： 地理歴史 科目： 地理探究 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：A組・B組・C組・D組・E組・F組：井川 G組・H組：落

使用教科書： 地理探究（二宮書店）・新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理探究の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A現代世界の系統地理的考察（1）自然環境 【知識及び技能】地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】自然環境に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （1）場所や人間と地形や気候などの自然環境との相互依存関係。 （2）地形や気候などの自然環境についての課題の追及や解決に向けての活動。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表	①地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 ③自然環境に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	A現代世界の系統地理的考察（2）資源、産業（3）交通・通信、観光 【知識及び技能】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。また、交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信網と物流や人の移動に関する諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】資源、産業、交通・通信、観光に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （1）資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信、観光などに関する場所や空間的相互依存作用。 （2）資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信、観光などに関する課題の追及や解決に向けての活動。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	①資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②資源・エネルギーや農業、工業、交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③資源、産業、交通・通信、観光に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1

2 学 期	A 現代世界の系統地理的考察（４）人口、都市・村落（５）生活文化、民族・宗教 【知識及び技能】人口、都市・村落などに関する諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。また、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （１）人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる場所や空間的相互依存作用。 （２）人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる課題の追及や解決に向けての活動。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人１台端末の活用、グループワーク・発表	①人口、都市・村落などに関する諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	B 現代世界の地誌的考察（１）現代世界の地域区分（２）現代世界の諸地域 【知識及び技能】世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解する。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付ける。幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解する。や幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現する。現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （１）現代世界の地誌的考察に関わる空間的相互依存作用や地域。 （２）現代世界の地誌的考察に関わる課題の追及や解決に向けての活動。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人１台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	①世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域概念、地域区分の意義などについて理解している。世界や世界の諸地域について、各種の主題図や資料を踏まえて地域区分をする地理的技能を身に付けている。幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解している。や幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 ②世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現している。現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
3 学 期	C 現代世界におけるこれからの日本の国土像（１）持続可能な国土像の探究 【知識及び技能】現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方など主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に探究し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】現代世界におけるこれからの日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （１）日本の国土像に関わる空間的相互依存作用や地域。 （２）日本の国土像に関わる課題の追及や解決に向けての活動。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人１台端末の活用、グループワーク・発表、レポート提出	①現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 ②現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方など主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 ③現代世界におけるこれからの日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（AB組：小島） （CD組：小島） （EF組：池田） （GH組：小島）

使用教科書：（ 詳説 日本史 山川出版社 ）

教科 地理歴史の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	①人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。②打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、竪穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。③大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	・指導事項 文化の始まり 農耕社会の成立 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。 【思考・判断・表現】小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的】黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	○	○	○	9
	①地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。②ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。	・指導事項 古墳文化の展開 飛鳥の朝廷 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 【思考・判断・表現】仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 【主体的】中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	①律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。②律令にもとづく国内統治体制について理解する。③律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。	・指導事項 律令国家への道 平城京の時代 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。 【思考・判断・表現】天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。 【主体的】平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10

2 学 期	①律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。②平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。	・指導事項 律令国家の文化・変容 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解している。 【思考・判断・表現】蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的】隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1
	①藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。②大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。	・指導事項 摂関政治・国風文化 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 【思考・判断・表現】奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。【主体的】平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	9
	①律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。②地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。	・指導事項 地方政治の展開と武士 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。【思考・判断・表現】文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。【主体的】国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1
	①院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。②政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。	・指導事項 院政と平氏政権 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解している。【思考・判断・表現】武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現している。【主体的】中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を通観する問いを表現し、追究しようとしている。	○	○	○	9
	①鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。②承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。	・指導事項 鎌倉幕府の成立 武士の社会 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。【思考・判断・表現】武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。【主体的】公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考查			○	○		1

3 学 期	①モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。②庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。	・指導事項 元寇と幕府の衰退 鎌倉文化 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】宋・元などユーラシアとの交流に着目して、モンゴル襲来の国際的な背景や国内政治への影響について理解している。【思考・判断・表現】宋・元との交流の窓口や貿易の担い手などを視野に入れて、ユーラシアとの交流を多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的】宋・元などユーラシアとの交流と経済や文化への影響について、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	①南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。	・指導事項 室町幕府の成立 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。【思考・判断・表現】南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的】武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	9
	①庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。	・指導事項 幕府の衰退と庶民の台頭 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】諸産業や流通、地域経済が成長したことに着目し、諸資料から情報を読み取り、庶民が台頭して村などの自治的な単位が成立したことを理解している。【思考・判断・表現】自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。【主体的】室町時代に成立した村の自治的な運営が現代社会における自治とどのように異なるかなど、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科： 地理歴史 科目： 世界史探究 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者： （AB組：伊藤輝仁） （CD組：伊藤輝仁） （EF組：伊藤輝仁） （GH組：中田民夫）

使用教科書： （ 世界史探究 詳説世界史 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	①農耕や牧畜をはじめたことで、人類の暮らしはどのように変化したのだろうか。 ・農耕・牧畜の開始から国家の成立までの過程における、人類の生活や社会の変化について考える。	・指導事項 文化の始まり 農耕社会の成立 ・教材 教科書 資料集 ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「古代文明の出現」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	①古代オリエントには、どのような特徴をもった文明が生まれたのか。また、諸民族の侵入や移動は、オリエントの歴史にどのような変化をもたらしたのだろうか。 ・メソポタミア文明やエジプト文明の特色について考える。 ・東地中海の諸民族の活動と彼らが生み出した文化や宗教について考える。	・指導事項 オリエント世界 ・教材 教科書 資料集 ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】メソポタミア文明やエジプト文明、ユーグ文明について、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】メソポタミア文明、エジプト文明、ユーグ文明がそれぞれの自然環境とどのように関係しておこったのか、それらの文明がのちの社会にどのような影響を与えたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	①古代ギリシアのポリスには、どのような特徴があっただろうか。 ・ポリスの成立と発展について考える。 ・アテネの民主政の発展と特徴、ポリスの衰退について考える。 ②アレクサンドロスの東方遠征や大帝国の建設は、ギリシア・オリエントの文化にどのような変化をもたらしたのだろうか。 ・アレクサンドロス大王の東方遠征と、ヘレニズム文化の形成について考える。	・指導事項 古代ギリシア文明 ヘレニズム文化 ・教材 教科書 資料集 ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】古代ギリシアとヘレニズム世界について、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】アテネの民主政と現代の民主政にはどのようなちがいがいるのかについて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「西アジアと地中海周辺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	①ローマの共和政はどのようにして帝政へと変容していったのだろうか。 ・ローマにおける共和政の成立と支配領域の拡大について考える。 ・ローマにおける帝政への移行とキリスト教の誕生・拡大について考える。	・指導事項 共和政ローマ 帝政ローマ ・教材 教科書 資料集 ・一人 1 台端末の活用	【知識・技能】・ローマによる地中海世界の統一や、ローマが共和政から帝政に移行した背景などについて、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】ローマがなぜ共和政から帝政に移行したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「共和政および帝政ローマ」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

2 学 期	①中国の春秋・戦国時代には、政治・社会・経済の面で、どのような変動がおこったのだろうか。 ・春秋時代・戦国時代の中国でおこった政治的な変化や社会的・経済的変動について考える。 秦や漢は、広大な領域をどのように統治したのだろうか。また、周辺地域にどのような影響を与えたのだろうか。 ・秦・漢の統治体制の特徴を考える。	・指導事項 中国古代帝国と東アジア ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】中国で領域国家へと社会の統合がすすみ、秦漢時代には中央集権国家が誕生したこと、モンゴル高原で誕生した匈奴帝国が秦漢帝国と対立したことなどについて、諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】秦漢帝国や匈奴帝国はどのようにして生まれ、どのような性格をもっていたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「東アジアと中央ユーラシア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
	①ゲルマン人やヴァイキングなど諸民族の移動によって、ヨーロッパにはどのような国家が形成されたのだろうか。・ヨーロッパにどのような国家がつけられたか考える。・フランク王国の発展とローマ教会との関係について考える。	・指導事項 ラテン=カトリック圏の形成と展開 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思考・判断・表現】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「中世ヨーロッパの社会と文化」	○	○	○	9
	定期考査		【主体的】「中世ヨーロッパの社会と文化」	○	○		1
	①モンゴル帝国が成立したことにより、ユーラシア大陸にはどのような変化がみられただろうか。 ・モンゴル帝国の発展が、衝突と同時に、さまざまな交流をもたらし、陸海のネットワークを再編させたことを考える。	・指導事項 宗～モンゴル帝国の成立まで ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】宋の社会や経済の発展、文化について、モンゴル帝国の展開と東西交流について諸資料から読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】唐宋変革とよばれる中国社会の大変革はどのようにしておこったのかについてモンゴル帝国はどのようにして大帝國へと発展したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的】「中華世界の変容とモンゴル帝国」の内容に対して、見通しをもって学習に	○	○	○	9
	①明代に形成された海禁=朝貢体制は、明や周辺諸国にどのような影響を与えたのだろうか。 ・海禁=朝貢体制を利用して発展した国もある一方、その体制に不満をいだいた勢力もあったこと、海禁政策の調整が国際情勢に影響を与えたことを考える。	・指導事項 明と東アジア ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】・明と日本・朝鮮の動向について、諸資料から読み取り、理解している。 大交易時代のアジア社会について概念的に理解している。 【思考・判断・表現】明の国内重視の国家体制と活発な交易が、いかに両立したのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 大交易時代のアジア社会について主題を設定して考察し、表現している。	○	○	○	9
3 学 期	定期考査		【主体的】大交易時代のアジア社会について	○	○		1
	①ヨーロッパの海外進出により、大西洋の両岸地域にはどのような変化がみられただろうか。 ・コロンブス交換や「近代世界システム」などの用語を整理し、その意義について考える。	・指導事項 ヨーロッパの海外進出と大航海時代の海域アジア ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】大交易時代はヨーロッパ世界と東南アジア、東アジア世界にどのような変容をもたらしたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化について概念的に理解している。 【思考・判断・表現】大交易時代に、なぜオランダが最も有力な交易勢力の一つになったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 大交易時代のヨーロッパ社会と世界の一体化について主題を設定して考察し、表現している。	○	○	○	9
	①スペイン、オランダ、イギリス、フランス、東ヨーロッパに成立した主権国家には、どのような特徴がみられただろうか。 ・ヨーロッパ諸国で形成された主権国家について、共通点と同時に、各地の社会構造の相違と関連して、さまざまな特徴がみられたことを考える。	・指導事項 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大 ・教材 教科書 資料集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。 【思考・判断・表現】ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパ社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
							合計
							105

昭和高等学校 令和7年度 教科 地理歴史 科目 地理演習

教科： 地理歴史 科目： 地理演習 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者：A 組～H 組：井川

使用教科書： 地理探究（二宮書店）・新詳高等地図（帝国書院）

教科 地理歴史の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理演習の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。また、そのようにして身に付けた知識や技能を用いて共通テスト等の問題に対応できる力を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。また、そのようにして身に付けた思考力、判断力、表現力等を用いて共通テスト等の問題に対応できる力を身に付ける。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。また、そのようにして身に付けた学びに向かう力や人間性等を用いて共通テスト等の問題に対応できる力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	地理情報と地図、地図の活用と地域調査、地形や気候等の自然環境 【知識及び技能】地理情報や地図、地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】地理情報や地図、地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球の課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】地理情報や自然環境に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする 定期考查	・指導項目 （１）地理情報と地図、自然環境などについての問題演習等。 （２）上記の問題演習に関する解説等。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1 台端末の活用、グループワーク・発表	①地理情報や自然環境などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②地理情報や自然環境などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球の課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 ③地理情報と自然環境に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われている。 ④地理情報と自然環境に関連した演習問題に対応できている。	○	○	○	12
	定期考查			○	○		1
	農林水産業、エネルギー・鉱産資源、工業、流通・消費、交通・通信 【知識及び技能】農林水産業、エネルギー・鉱産資源、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、それらに関する問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。また、流通・消費、交通・通信などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、それらに関する問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】農林水産業、エネルギー・鉱産資源、工業、流通・消費、交通・通信に関する諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球の課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】農林水産業、エネルギー・鉱産資源、工業、流通・消費、交通・通信に関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 定期考查	・指導項目 （１）産業や世界の結び付きなどについての問題演習等。 （２）上記の問題演習に関する解説等。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1 台端末の活用、グループワーク・発表、レポート等提出	①産業に関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、産業に関する問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。世界の結び付きに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、世界の結び付きに関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②産業に関わる諸事象や世界の結び付きに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業や世界の結び付きに関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度が養われている。 ④産業と世界の結び付きに関連した演習問題に対応できている。	○	○	○	14
	定期考查			○	○		1

2 学 期	人口・都市村落、民族・宗教、生活文化 【知識及び技能】人口、都市・村落などに関する諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。また、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・指導項目 （１）人口、都市・村落、民族・宗教、生活文化についての問題演習等。 （２）上記の問題演習に関する解説等。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表	①人口、都市・村落などに関する諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 ②人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関連して、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ④人口、都市・村落や生活文化、民族・宗教などに関連した演習問題に対応できている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	現代世界の諸地域、日本の国土像 【知識及び技能】幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解する。幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解する。現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現する。現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方など主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に探究し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。現代世界におけるこれからの日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこで	・指導項目 （１）現代世界の諸地域、日本の国土像についての問題演習等。 （２）上記の問題演習に関する解説等。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用、グループワーク・発表、レポート等提出	①幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解している。幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、地域の結び付き、構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 ②現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方など主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 ③現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。現代世界におけるこれからの日本の国土像について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	これまでの全単元 【知識及び技能】これまでの全単元について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】これまでの全単元について探究し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】これまでの全単元についての態度を養う。	・指導項目 （１）全単元についての問題演習等。 （２）上記の問題演習に関する解説等。 ・教材 教科書、地図帳 ・一人1台端末の活用	①これまでの全単元について理解している。 ②これまでの全単元について探究し、表現している。 ③これまでの全単元について主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	13

昭和高等学校 令和7年度 地理歴史科 発展日本史 年間授業計画

教 科： 地理歴史 科 目： 発展日本史 単位数： 6単位
対象学年組： 第3学年A組～H組
教科担当者： (①池田 ②a小島 b池田)
使用教科書： (『詳説日本史B』山川出版社)
使用教材： (『新詳日本史』浜島書店 『新日本史史料集成』第一学習社)

	指導内容	科目：世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	室町時代 幕府の動揺と一揆 室町文化	戦国期における社会の転換、一揆について理解する。北山文化・東山文化の特徴について理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	幕藩体制の確立	幕藩体制、幕府と藩の機構、天皇と朝廷、禁教と寺社、江戸時代初期の外交、鎖国政策、長崎貿易、朝鮮と琉球、蝦夷地、寛永期の文化について、詳しく理解する。江戸期の身分と社会、村と百姓、町と町人、農業、林工業・鉱業、商業について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	幕藩体制の確立	江戸期の身分と社会、村と百姓、町と町人、農業、林工業・鉱業、商業について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
5月	幕藩体制の展開	平和と秩序の確立、元禄時代、正徳の政治、農業生産の進展、諸産業の発達、交通の整備と発達、貨幣と金融、三都の発展、商業の展開について詳しく理解する。三都の発展、商業の展開について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	8
	幕藩体制の動揺	享保の改革、社会の変容、一揆と打ちこわし田沼時代、宝暦・天明期の文化、洋学の始まり、国学の発達と尊王論、生活から生まれた思想、儒学教育と学校、文学と芸能、絵画について詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	8
		開国から幕府滅亡・新政府の発足を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	6
6月	近世から近代へ	開国から幕府滅亡・新政府の発足を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	近代国家の成立	明治維新と立憲国家の成立を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
	近代国家の展開	日清・日露戦争から第1次世界大戦における国際関係を詳しく理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
		ワシントン体制について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
7月	近代の産業と生活	近代産業の発展について理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	18
8月	恐慌と第二次世界大戦	恐慌について理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6

	指導内容	科目：世界史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	恐慌と第二次世界大戦	軍部の台頭と第2次世界大戦にいて詳しく理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	4
				6
	占領下の日本	占領政策について理解する	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	6
				4
10 月	占領下の日本	冷戦の開始と講和について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	12
	高度成長の時代	55年体制について理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	8
11 月	高度成長の時代	経済復興から高度経済成長について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	12
	激動する世界と日本	経済大国への道を理解する。	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト	12
12 月	激動する世界と日本	冷戦の終結と日本社会の変容について詳しく知る	・発問評価 ・授業態度 ・確認テスト ・定期テスト	18
1 月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	18
2 月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	14
3 月	入試問題演習	各進路希望に応じて必要な演習を行い、学習内容の理解を深める。	・演習への取り組み ・授業態度 ・確認テスト	8

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 発展世界史

教科： 地理歴史 科目： 発展世界史 単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ H 組

教科担当者： （A～H組： 伊藤誠 ）

使用教科書： （ 世界史探究 詳説世界史 山川出版社 ）

教科 地理歴史 の目標：
現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を選択し、
【知識及び技能】 効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見
【思考力、判断力、表現力等】 られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養
科目 発展世界史 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。 ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。 オスマン帝国の統治が当時の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ムガル帝国の衰退の背景や要因を多面的・多角的に考察し表現する。 清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。	・指導事項 1 アジア交易世界の興隆 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 3 オスマン帝国とサファヴィー朝 4 ムガル帝国の興隆 5 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 「世界の一体化」が始まった時期のアジアにおいて、どのような動きがあったのかを理解している。 【思考・判断・表現】 「南蛮屏風」などの図像資料や鄭曉『今言』などの資料をもとに、この時期のアジア内およびアジアと世界の交流を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	B 単元 ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。	・指導事項 1 ルネサンス 2 宗教改革 3 主権国家体制の成立 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 5 北欧・東欧の動向 6 科学革命と啓蒙思想 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
	C 単元 17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 啓蒙専制主義の特徴を理解する。 科学革命がヨーロッパ人に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	・指導事項 1 オランダ・イギリス・フランスの台頭 2 北欧・東欧の動向 3 科学革命と啓蒙思想 4 産業革命 5 アメリカ合衆国の独立と発展 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 産業革命が18世紀後半のイギリスから始まった背景や技術革新の展開を理解している。 【思考・判断・表現】 ルネサンスとの比較をふまえて、科学革命が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ合衆国の独立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	D 単元 人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を理解する。 中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現する。 領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	・指導事項 1 フランス革命とナポレオンの支配 2 中南米諸国の独立 3 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 4 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 5 アメリカ合衆国の発展 6 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。 【思考・判断・表現】 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1

2 学 期	E 単元 帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 20世紀初頭における列強体制の枠組みの変化を多面的・多角的に考察し表現する。 歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。	・指導事項 1 西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 4 第2次産業革命と帝国主義 5 列強の世界分割と列強体制の二分化 6 アジア諸国の変革と民族運動 7 第一次世界大戦とロシア革命 8 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	48
	定期考査			○	○		1
	F 単元 第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 キューバ革命の背景および影響を多面的・多角的に考察し表現する。 1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を多面的・多角的に考察し表現する。 東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。	・指導事項 1 第二次世界大戦 2 新しい国際秩序の形成 3 冷戦の展開 4 第三世界の台頭とキューバ危機 5 冷戦体制の動揺 6 産業構造の変容 7 冷戦の終結 ・教材 教科書・資料集・プリント・スライド ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思考・判断・表現】 各国の様子を写した図像資料や「中華人民政治協商会議共同綱領」などの資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	48
定期考査			○	○		1	
3 学 期	それぞれの進路に応じて演習を進め、これまでの学習の理解を深める	・指導事項 入試問題演習	【知識・技能】 演習に必要な知識・技能があるか 【思考・判断・表現】 演習において思考・表現できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に演習に取り組み、進路について深めているか	○	○	○	12
							合計
							210

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組
教科担当者：（A～H組：高橋 菜穂子）
使用教科書：詳述公民 実教出版
教科 公民

単位数： 2 単位

【知識及び技能】 現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。
【思考力、判断力、表現力等】 「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。
【学びに向かう力、人間性等】 「1人1台端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的事象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

科目	公共	の目標：	
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	中学校までの学習内容をもとに、2年後には成人かつ主権者になることを踏まえ、社会に主体的に参画するために必要な概念や理論、公共的な空間における基本的原理の修得を目指す。法、政治、経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、課題解決に向かう力を育む。	持続可能な社会づくりに主体的に参画する態度、意識を醸成する。政治、経済、国際社会における今日の課題や人間の生き方について多面的に考察し、議論やレポート作成等を通して、社会的な合意形成を行う力を高める。	社会的事象に向き合い、自ら「問い」や「課題」を設定する力を育む。探究学習等を通して情報活用能力や他者と協働する力を高め、社会の諸課題に関心をもち学び続ける態度、意識を涵養する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
中間 考 査 ま で	第1編 公共の原 第1章 社会を作る私たち 【知識及び技能】 青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。世界の宗教や日本の思想、伝統文化などにふれることで様々な価値観を尊重することを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 青年期の意義、青年期と自己形成の課題、職業生活と社会参加、現代社会と青年の生き方、日本の伝統文化と私たち ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について主体的に取り組ませる	【知識・技能】 青年期の課題や人間が社会的存在であることの意義を理解する。世界の宗教や日本の思想、伝統文化などにふれることで様々な価値観を尊重することを理解している。 【思考・判断・表現】 自分自身が公共的な空間を作り出す一員である自覚を深めるとともに、他者と協働して社会を作り出すことの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る私たちについて、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	第2章 人間としてよく生きる その1 【知識及び技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 ギリシア思想、宗教の教え、人間の尊重 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について主体的に取り組ませる	【知識・技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
1 学 期 期 末 考 査 ま で	第2章 人間としてよく生きる その2 第3章 民主社会の倫理 【知識及び技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 人間の自由と尊厳、個人と社会、主体性の確立、他社の尊重、公正な社会、人間の尊厳と平等、自由・権利と責任・義務 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について主体的に取り組ませる	【知識・技能】 行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生命倫理や環境倫理の問題を事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、幸福を重視する考え方や公正などの義務を重視する考え方を踏まえ、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間を作る人間としての在り方生き方について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	第4章 民主国家における基本原理 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「多数決の長所・短所」などを事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 人権保障の発展と民主政治の成立、国民主権と民主政治の発展 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について主体的に取り組ませる	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 【思考・判断・表現】 「多数決の長所・短所」などを事例に、諸資料を読み取り、情報を活用して、公共的な空間における基本的原理を踏まえ、個人と社会との関係を多面的、多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 法や規範の意義及び役割、平和主義のとらえ方の変化、大日本帝国憲法と日本国憲法との違い、日本国憲法の平等権、自由権、社会権、「新しい人権」などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本における平和主義に関し、歴史的な変遷と、これからの安保体制の在り方について多面的・多角的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとする。	・指導事項 日本国憲法の成立、平和主義とわが国の安全、基本的人権の保障、人権の広がり ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について主体的に取り組ませる	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割、平和主義のとらえ方の変化、大日本帝国憲法と日本国憲法との違い、日本国憲法の平等権、自由権、社会権、「新しい人権」などについて理解している。 【思考・判断・表現】 日本における平和主義に関し、歴史的な変遷と、これからの安保体制の在り方について多面的・多角的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に法的な分野の内容に関係する、よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	第2章 日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 日本の統治機構や、日本の国会、内閣及び裁判所のしくみと働き、行政権の特徴と行政権の拡大の問題点、刑事裁判と民事裁判の違い、地方自治や選挙のしくみ、民主政治において、世論が果たす役割と課題について理解させる。 情報モラルと情報リテラシーの意義について理解させる。	・指導事項 政治機構と国民生活、人権保障と裁判所、地方自治、選挙と政党、政治参加と世論 ・教材 教科書、プリント、ワークシート ・一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について主体的に取り組ませる	【知識・技能】 日本の統治機構や、日本の国会、内閣及び裁判所のしくみと働き、行政権の特徴と行政権の拡大の問題点、刑事裁判と民事裁判の違い、地方自治や選挙のしくみ、民主政治において世論が果たす役割と課題などについて理解している。 情報モラルと情報リテラシーの意義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】				

2 学 期	中 期 考 査 ま で		「模擬投票」を事例に、選挙公約に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現している。					6
		【思考力、判断力、表現力等】 「模擬投票」を事例に、選挙公約に基づき公平・公正に判断することについて多面的・多角的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとする。		【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に政治的分野について、よりよい社会の実現を視野に、主体的に解決しようとしている。				3
		第3章 現代の経済社会 その1 【知識及び技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらし、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 経済社会の形成と変容、市場の仕組み、現代の企業 ・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について 主体的に取り組ませる	【知識・技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらし、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
	定期考査				○	○		1
期 末 考 査 ま で		第3章 現代の経済社会 その2 【知識及び技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらし、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 経済成長と景気変動、金融機関の働き、「政府の役割と財政・租税」 ・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について 主体的に取り組ませる	【知識・技能】 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念、企業の役割とはたらし、戦後の日本の経済の発展の歴史、GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」、財政と租税のしくみと機能などについて理解している。 【思考・判断・表現】 「市場経済の機能と限界」を事例にして、市場の失敗の事例とその対応方法について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
		第4章 経済活動の在り方と国民福祉 【知識及び技能】 日本経済の歴史とこれからの課題、中小企業と農業、公害と環境保全、日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解させる。 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現させる。 「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・指導事項 日本経済の歩みと近年の課題、中小企業と農業、公害防止と環境保全、消費者問題、労働問題と雇用、社会保障 ・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について 主体的に取り組ませる	【知識・技能】 日本経済の歴史とこれからの課題、中小企業と農業、公害と環境保全、日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化などについて理解している。 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解している。 【思考・判断・表現】 「雇用と労働」を事例に、労働者の権利や労働契約を巡る法規制の形態について考察、表現している。「財政・租税の役割/社会保障」を事例に、日本の社会保障や財政に係わる資料等を読み取って、循環可能な社会保障制度の在り方について、考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現実社会の諸課題について、特に経済分野についてよりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				6
		定期考査				○	○	
	3 学 期		第5章 国際政治の動向と課題 【知識及び技能】 国際法、国家安全保障と国際機関、国際政治の変遷、日本の在り方などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際政治に関する諸資料に基づいて多面的・他者的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の国際政治の現状をもとに、日本がどのように国際貢献すべきか、主体的に考えさせ意見を持たせる。	・指導事項 国家社会における政治と法、国家安全保障と国際連合、冷戦終結後の国際政治、軍備競争と軍備縮小、異なる人種・民族との共存、国際平和と日本 ・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について 主体的に取り組ませる	【知識・技能】 国際法、国家安全保障と国際機関、国際政治の変遷、日本の在り方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 国際政治に関する諸資料に基づいて多面的・他者的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の国際政治の現状をもとに、日本がどのように国際貢献すべきか、主体的に考え意見を持つようとしている。	○	○	○
A 単元 国際経済の動向と課題 【知識及び技能】 国際経済のしくみ、国際経済体制の変化、地域経済統合と新興国、日本のODAと経済協力などについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国際経済に関する諸資料に基づいて多面的・他者的に考察、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 SDGsをつなぎ、国際経済の課題を主体的に考えさせ意見を持たせる。			・指導事項 国際経済のしくみ、国際経済体制の変化、経済のグローバル化と金融危機、地域経済統合と新興国、日本のODAと経済協力 ・教材 教科書、プリント、ワークシート 一人1台端末の活用 等 日経電子版の閲覧など、時事的な内容の把握について 主体的に取り組ませる	【知識・技能】 国際経済のしくみ、国際経済体制の変化、地域経済統合と新興国、日本のODAと経済協力などについて理解している。 【思考・判断・表現】 国際経済に関する諸資料に基づいて多面的・他者的に考察、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が国際経済において進むべき方向性について、主体的に考え意見を持つようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○	
合計								70

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

単位数： 2 単位

教科担当者：（A～H組：高橋 菜穂子）

使用教科書：詳述 政治・経済 実教出版

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】

現代の諸課題についての基礎的な概念や理論を理解し、資料活用能力を高めることで社会とのつながりを意識した「生きる力」を高める。

【思考力、判断力、表現力等】

「幸福、正義、公正」の観点から合意形成を行う基礎的な力を養い、持続可能な社会づくりに主体的に関わる態度や自覚を涵養する。

【学びに向かう力、人間性等】

「1人1台端末」を活用し、自らの問題意識を探究することで社会的現象等を多角的、多面的に考え、学び続ける力を育む。

科目 政治・経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	中間 考 査 ま で	第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 【知識及び技能】 経済社会の形成と変容の基本事項を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 経済活動について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現実社会の諸課題について、主体的に追究して経済社会の変容とその課題について考えたことを社会生活に生かす。	・経済活動の意義、経済活動の形成と変容について、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 経済とは何かを、例えば「コロナ禍からの景気回復」「日銀総裁の交代」などの時事問題も絡めながら、現代社会における経済について理解している。 【思考・判断・表現】 「世界が100人の村だったら？」のような例・テーマを出して話し合わせ、経済を身近に・総合的にとらえられるように考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分が経済の担い手になることを自覚させ、解決策などを考えている。	○	○	○	6
	定期 考 査	第2章 現代経済のしくみ 【知識及び技能】 経済活動と市場、経済主体と経済循環、経済成長、景気変動、財政の働きと租税の意義、金融の働きと仕組みについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・経済活動と市場、経済主体と経済循環、経済成長、景気変動、財政の働きと租税の意義、金融の働きと仕組みについて、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 経済活動と市場、経済成長や景気変動、財政と金融などの基本的知識を理解している。 【思考・判断・表現】 現代日本の経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	8
	期 末 考 査 ま で	第3章 現代経済と福祉の向上 【知識及び技能】 日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 戦後日本経済の変化と各々の時期の課題について整理理解している。 【思考・判断・表現】 イノベーションや少子高齢化なども含め、未来の日本経済を考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本経済史、中小企業と農業、消費者問題、環境と公害問題、労働問題、社会保障の仕組みについて考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	8
	定期 考 査	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 【知識及び技能】 国際社会の変遷、国際法の意義、国連などの国際機構の役割、わが国の安全保障と防衛、国際貢献についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・国際社会の変遷、国際法の意義、国連などの国際機構の役割、わが国の安全保障と防衛、国際貢献についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 国際連盟・連合との違いなど、国際社会の形成をしっかりと理解している。 【思考・判断・表現】 「世界の中の日本」を、主観的・客観的に両面から多角的・多面的に考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自衛隊はあまり絡めず、ウクライナ侵攻の最中、軍備の縮小と拡大の両面から、国際社会の適切なあり方を考えている。	○	○	○	6
2 学 期	中間 考 査 ま で	第2章 現代の国際経済 【知識及び技能】 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国際収支、国際経済機関の役割について、理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の国際経済に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際経済について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国際収支、国際経済機関の役割について、理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 比較生産費説や国際収支表、自由貿易の意義などについて理解している。 【思考・判断・表現】 貧困や環境保全等を含めた国際経済と日本について考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本が21世紀の国際経済において進べき方向性を探究できる。	○	○	○	6
	定期 考 査	第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 【知識及び技能】 政治と法の意義、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・政治と法の意義、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 政治と法の意義、人権保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい政治の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	6
	期 末 考 査 ま で	第2章 日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 新旧憲法の違い、平和主義、憲法の基本的人権についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・新旧憲法の違い、平和主義、憲法の基本的人権についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 新旧憲法の違い、平和主義、憲法の基本的人権についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい政治の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	8
	定期 考 査	第3章 日本の政治機構 【知識及び技能】 立法・司法・行政、地方自治の仕組みと意義についてなど理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。	・立法・司法・行政、地方自治の仕組みと意義についてなど理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 立法・司法・行政、地方自治の仕組みと意義についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本政治に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	1

3 学 期	期末 考 査 ま で	【学びに向かう力、人間性等】 望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。					
		第3編 現代日本における諸課題の探究 その1 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本における政治・経済の諸課題について、諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい社会の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・少子高齢化社会における社会保障の充実と安定化、地域社会の在り方など、について理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 少子高齢化社会における社会保障の充実と安定化、地域社会の在り方についてなど理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本社会に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい社会の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	6
	定期 考 査				○	○		1
3 学 期		第3編 現代日本における諸課題の探究 その2 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本における政治・経済の諸課題について、諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 望ましい社会の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えさせる。	・多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現など、について理解させる。 ・ICT機器やPDFプリントを活用し、一人一台端末の利用を促す。	【知識・技能】 多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現など、について理解している。 【思考・判断・表現】 現代の日本社会に関する諸資料から、課題解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付け考察・表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 望ましい社会の在り方に及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考えたことを社会生活に生かすよう考えている。	○	○	○	4
							合計	70